

■ ジャパンダートダービー (JpnI) アラカルト (過去全 20 回の分析)

※記録は令和元年 6 月 24 日時点

■ 上位人気馬はますます堅実

単勝 1 番人気馬は 9 勝、2 着 3 回、3 着 2 回で、3 着内率が 70.0%、単勝 2 番人気馬は 4 勝、2 着 3 回、3 着 2 回で、3 着内率が 45.0%、単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 6 回、3 着 4 回で、3 着内率が 60.0%となっている。単勝 1 番人気馬はもちろん、単勝 2~3 番人気馬もそれぞれに堅実なレースだ。

■ 前評判の高い馬が上位を占めた例も少なくない

過去 20 回のうち 15 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。また、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 8 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 3 回ある。

■ 牝馬は優勝例なし、外国産馬は 2 勝

過去 20 回の優勝馬 20 頭はいずれも牡馬である。牝馬は第 6 回 (平成 16 年) でアクイレジアが 2 着となったものの、まだ優勝例がない。なお、外国産馬は第 6 回 (平成 16 年) のカフェオリンポス、第 11 回 (平成 21 年) のテストマッタと、これまでに 2 頭が優勝を果たしている。

■ 3 着内馬のうち 3 分の 1 強は地方所属馬

地方所属馬は 5 勝、2 着 6 回、3 着 10 回、JRA 所属馬は 15 勝、2 着 14 回、3 着 10 回となっている。過去 20 回の 3 着内馬 60 頭に対する割合で示すと、地方所属馬は 35%、JRA 所属馬は 65%だ。

■無敗での制覇はトーシンプリザードのみ

過去 20 回の優勝馬 20 頭中、出走時点で無敗だったのは第 3 回（平成 13 年）のトーシンプリザード（出走時点で 7 戦 7 勝）だけである。なお、ダートのレースに限ると出走時点で無敗だった馬は、前出のトーシンプリザード（ダートのレースに限っても出走時点で 7 戦 7 勝）に加え、第 4 回（平成 14 年）のゴールドアリュール（ダートのレースに限ると出走時点で 2 戦 2 勝）、第 7 回（平成 17 年）のカネヒキリ（同 4 戦 4 勝）、第 10 回（平成 20 年）のサクセスブロッケン（同 4 戦 4 勝）、第 11 回（平成 21 年）のテストアマッタ（同 2 戦 2 勝）、第 14 回（平成 24 年）のハタノヴァンクール（同 4 戦 4 勝）と、計 6 頭いる。

■騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、3 勝の武豊騎手が単独トップ。内田博幸騎手、戸崎圭太騎手、横山典弘騎手が 2 勝で 2 位タイとなっている。

■調教師別の歴代最多勝記録は「2」

調教師別の勝利数を見ると、2 勝の川島正行調教師、佐藤賢二調教師、角居勝彦調教師がトップタイとなっている。

■6 枠や 11 番がやや優勢

枠番別勝利数を見ると、6 枠（6 勝）が単独トップ。7 枠（4 勝）が単独 2 位、3 枠、4 枠（各 3 勝）が 3 位タイとなっている。また、馬番別勝利数を見ると、11 番（4 勝）が単独トップ。3 番、4 番、7 番、9 番、10 番（各 2 勝）が 2 位タイである。ちなみに、未勝利の馬番は 2 番、13 番、15 番、16 番だ。

<伊吹雅也>